



特集 ◇左京図書館の一日  
TOPICS◇小学生図書館見学  
1周年記念行事  
パネル展  
館内飾り付け

特集 探検隊は行く

## 左京図書館の一日

—図書館の仕事を知るために—



### ◇左京図書館の朝◇

「おはようございます」左京図書館の1日を取材するため、特別に8時40分に館内に入りました。2人の司書さんが、夜間閉館中にブックポストに返却された本を回収中。今日は約150冊、山のようになった本をブックトラック（運搬用の棚）に並べ、今度はカウンターでピピッと本のバーコードの読み込み、返却作業です。さらに予約の入っている本を分けてから書架に本が戻りました。

9時ごろ、館長さんが図書館全体の棚を見回って、倒れた本を整える書架整理。またいつもは新聞を前日のものと入れ替える作業もあるそうですが、この日は新聞休刊日でした。他館からの予約の本のリストをコンピュータから打ち出し、書架から探してとっておきます。また、返却期限票も日付をいれて用意します。

9時15分、他館と本をやりとりする便（ブックメール・週2回）が来ました。左京図書館の利用者が貸出を依頼した他館の本が、この日は40冊。150冊にもなる日もあるそうです。また逆に、左京図書館から他館に貸し出す分が配達の人に渡されました。こうして、他館の本を借りたり返したりできるのですね。

さらにこの日は週2回の新規購入図書の納入日で、段ボール5箱、約80冊の本が業者から届きました。開館前の図書館は思いのほか人の出入りがあります。新着本の表紙をカラーコピーをして、

展示用の新着図書案内を作る作業も行われています。

9時45分から職員のミーティング。そして10時。小鳥のさえずりの音とピアノのメロディーが流れました。開館です。

### ◇午前中の動き◇

開館をまちかねて扉の外で待っていた人を初め、5、6人の利用者が、カウンターや書架へ。カウンターでは返却の作業です。バーコードを読み込んだ本は頁をめくって中を確認。そして予約をチェック。予約の入っている本はカウンター後ろの棚へ整理されます。

10時30分頃、入館者は25人を越え、返却、貸出とも、ここから1時間ほどはとぎれることなし。1人ずつに「6月26日までです」と返却日を伝えて貸出されます。初めて借りる人の登録の受付、利用者にはリクエストの仕方を説明をしたりと図書館の顔であるカウンターはいろいろな仕事があります。その合間に、コンピュータで返却日をすぎている利用者のチェックも。



開館前、ブックポストの返却本を整理

11時前に遅番で出勤の司書さんが入って、司書さんの数は合計5名に。この頃から利用者が増えはじめます。お年寄りや主婦が目立ちます。カウンターの裏の事務室では、司書さんが本を予約した人に電話やファックスで連絡をしています。「こんな本はありますか？」という問い合わせの電話や、左京図書館の場所を尋ねる電話もかかります。

#### ◇昼下がりの動き◇

11時30分から職員さんの昼食時間となりますが、2班に分かれて時間をずらせて休憩をとるので、カウンターの仕事は交代しながら続きます。正午になると館内にいる人も減って、この日は28名ほど。カウンターではリクエスト本の検索や入力の作業が続きます。

12時30分になると利用者が増え始めました。初めて利用する人が来て、司書さんが利用案内をわたして、説明している場面や「紙芝居はいくつ借りられますか？」という質問なども見受けられました。

1時になって、事務室では、朝に届いた新規購入本のチェックや整理の作業が始まりました。また、朝ブックメールで来た本の予約者への連絡や、返却が遅れている利用者への督促の連絡も。

2時すぎに書店から雑誌が4冊届きました。早速事務室でコンピュータに登録、シールなどが貼られます。先の号と入れ替え、カバーを掛けて、雑誌コーナーに並びました。「〇〇誌はきていますか？」とカウンターで問い合わせ、最新号が並ぶと早速手にとっている人もいました。

この時間帯、館内の動きは少ないものの、静かに読書にふける人でベンチや椅子はそこそこ埋まっています。カウンターでは頁の破れた本の修理中。これは手の空いたときにするのだそうです。

事務室では購入希望のリクエストを1週間分まとめ、すぐに手に入る本かどうかをインターネットでチェック。毎週30~40冊あるそうです。



ブックメールで他館の本が届きました。左京図書館の本もこの便で他館へ出発

#### ◇子どもたちが来る時間◇

3時前、職員さんは交代で15分の休息。この頃から幼稚園帰りの子どもがお母さんとやってきます。3時過ぎには向かいの児童館に小学生が来て、図書館をのぞきにきています。

カウンターでは利用者が「こういう本はどこにありますか？」と質問をして司書さんが書架に案内（レファレンス）。また検索機の使い方や他の館からの取り寄せの仕方を尋ねる人に画面の前で説明も。こういう案内をカウンターを出てしてもらおうと、利用者はとても助かります。

4時前、夕刊が来ました。すぐに蔵書印を押してホチキスでとめ、新聞コーナーへ。小学生二人が登録手続きの仕方をきいていたり、また、おばあさんが孫と登録をしている姿も見られました。

4時頃から、絵本コーナーが賑わいます。児童書の書架でも小学低学年の子どもたちが何人もやってきました、肩を寄せ合って本を選んでいきます。もちろんこの間も、返却、貸出、予約、リクエスト、書架への返却など、朝からのカウンター業務はずっと続いています。夜間開館するようになって、昼間返された本はできるだけ5時までには書架に戻すようにしているとのこと。

#### ◇夜の図書館◇

5時。「小学生は5時まで、大人のひとと一緒にきてね」の看板がでました。放送も入り、子どもだけの利用は5時で終わり。窓のブラインドが閉められ、夜間開館の時間となります。夜間のみ勤務の司書さんが一人出勤。休憩をすませた夜間の当番の職員さんは引き続き勤務。通常勤務の人は5時35分で業務終了。通常、平日のスタッフの数は昼間の一番多い時間から4人減って4人になります。

5時を過ぎてからの来館者は勤め帰りの人が目立ちます。静かに調べものをしている人、新聞を読む人など35名ほど。父と子、中高生の姿もありました。検索機で検索する人も多く、閉館までとぎれることがありません。検索機についての問い合わせはやはり夜間もあり、司書さんがカウンターを出て検

索機の前で親切に対応されていました。

夜間もカウンターの様々な業務は昼と変わりなく続けられています。この日はさらに京都コーナーの本のシールの張り替えもありました。7時を過ぎると、そろそろ閉館の準備。司書さん2人がカウンターの奥で本を整理して、書架に返却する作業に集中していました。次の開館日の朝スムーズに開館できるよう、その日の本はその日の内に書架にきちんと戻すことにしているそうです。その間、貸出がつづきます。

7時15分、閉館案内のアナウンスが流れ、静かなメロディーが閉館まで鳴り続けます。登録申請、予約、リクエストの受付を終了。館内にはまだ22人の人がいましたが、そろそろ帰り支度です。

7時30分、閉館。本を書架へ返却して整理、カウンターでは机上を片づけ、次の開館日の返却期限票を準備。入口では車椅子や傘袋がしまわれます。ブックポストの準備をし、玄関のカーテンを閉める...こうして閉館から10分ほどで図書館のフロアはひっそりとなりました。

事務室では1日のデータの整理が行われています。月曜は、週の内でも利用の少ない曜日とのことですが、この日の来館者は371人、貸出1163冊、返却1156冊、予約43件でした。

この日取材した以外にも、新刊書の選書・発注作業、テーマ図書の選定、行事の準備と実行、レファレンス関連の資料収集などの仕事があるそうです。

日頃見ることのできない事務室での仕事などを取材することで、いろんな発見がありました。利用者が図書館で読みたい本を手にすることができるようまで、様々な仕事があるのですね。

長時間の取材に御協力頂いた左京図書館のみなさん、ありがとうございました。

## 図書館のコトバ★ABC

### 【レファレンス・サービス】

日本語では参考調査業務、あるいは相談業務などと呼ばれている。利用者が何らかの資料や情報を求めている時、その資料や情報が得られるよう、図書館員が自館の所蔵資料やその他図書館のあらゆる機能を使って援助する活動。図書館のもっとも大事な仕事の一つ。

## 図書館に来るきっかけに

### 小学生の図書館見学



春、新学期が始まってしばらくすると、左京図書館は毎年恒例の図書館見学の小学生を迎えます。今年は左京区の10校（新洞、第三錦林、第四錦林、北白川、養正、養徳、下鴨、葵、松ヶ崎、修学院第二）の小学3年生が4月から6月にかけて訪れました。

5月22日の見学は第三錦林小学校の3年生52人です。子どもたちはまず、自由に図書館の中を見て回り、班ごとに1台ずつのデジタルカメラで、撮影をしていました。点字の学習をしているのでしょうか、点字の本を探している子どもが多く「あった、あった」の声も。また「おっ、こんな本ある」という声も聞かれました。

その後、児童用の閲覧機のところに集まって、館長さん、副館長さんからのお話です。館長さんは、京都市の図書館の説明をはじめ、左京図書館にない本でも京都市の他の館から取り寄せられることや、障害者に対するサービスを紹介。副館長さんからは蔵書数や図書館の使い方の話がありました。

そして実際に登録申し込み用紙を書き、カードも作って貸出をし、返却をするというデモンストレーションを行います。図書館を利用したことのある子、ない子、それぞれ1人ずつが出て、体験していました。

子どもたちからは「どんな本がよく出ますか?」「点字の本はありますか?」という質問がでました。質問に副館長さんがていねいに答えておられるのが印象的でした。

子どもたちの感想の中には、図書館がきれいで、職員の方が親切だったという声も。この日初めて図書館に来る子どもも結構いたようです。これを機会に子どもたちにとって図書館が身近なものになればいいなと思いました。

新築移転1周年の左京図書館

催しあれこれ

♡スペシャルおたのしみ会

5月18日、新築移転1周年記念のスペシャルおたのしみ会が、3階会議室で行われました。まず、人形劇サークル”ほうきぼし”による「ばばばあちゃんのおせんたく」。約70名の子どもたちが、おなじみのばばばあちゃんの活躍に歓声を上げ、身を乗り出して見入っていました。

人形劇を楽しんだあとは「ピュンピュンごま」作りです。四角や丸の厚紙に思い思いに色を塗り、小さな穴にたこ糸を通してできあがり。そして作ったこまをピュンピュン回して遊びました。中には、子どもより夢中のお母さんも。子どもも大人も一緒に楽しむことができました。



人形劇を楽しむこどもたち

♡パネル展

子ども読書年記念写真展

「子どもと図書館」



5月18～22日、左京図書館入口のスペースで開かれました。



まず紙に色を塗って

ピュンピュンごま作り。



副館長さんのこまに、子どもたちも注目

左京図書館 職員さん紹介

筒井浩美さん

(司書さん)

- ◆好きな本のジャンル ノンフィクション
- ◆趣味 昼寝、観劇
- ◆図書館の仕事をしていなかったら? 書店員
- ◆ひとこと 本を汗を流しながらの読書もよいものです。たくさん、本を借りて下さいね。



中野 薫さん

(司書さん)

- ◆好きな本のジャンル ミステリー
- ◆趣味 旅行
- ◆図書館の仕事をしていなかったら? OL
- ◆ひとこと これからも左京図書館をよろしくお願い致します。



「私という存在をあるがままに受け入れ受容して、なれば、わたしたち人間は自分の大切さを心から信じていることはできないようだ」

98年 森田ゆり著 解放出版社

エンパワメントと人権  
「こころの力のみなもとへ」

(本文より)「という森田さんの言葉から、まず自分が欠点だらけのあるがままの自分を丸ごと大切に思うこと、そしてそれができたら、今度は私たち一人一人が、まわりの人達にとつて、その存在をあるがままに受け入れ受容できる存在になりたいものだ、心の底から思うようになりました。」

(高野在住・けやき会員のIさん)▼この本は7月末現在、左京図書館には入っていません。

## ♡館内の飾りつけ

### ～子どもたちと手作りで

7月15日、絵本コーナーを飾る作品を子どもたちが作る会が、左京図書館主催で開かれました。出来上がった作品をみんなで運び、早速図書館の壁に飾って大満足。これからも季節ごとに開かれます。あなたも作ってみませんか。



## 地域の★読書サークル★紹介 3

### こどもと本と遊ぶ会

13年間続いてきた修学院の「京都アンデルセンハウスこども文庫」は、宇治の木幡で「アンデルセンのぼり文庫」として、新しく生まれかわることになりました。そこで、アンデルセンこども文庫で活動していた私達は、新しく修学院児童館で、地域の子どもたち、お母さん達と共に集まって、子どもの本を楽しむ会を始めました。

初回の7月6日は、1才から3才の親子連れ10組程と私達で紙芝居やアンデルセンの本を楽しみました。「こどもと本と遊ぶ会」と名付けましたが、みんなで本を楽しもう、さあ、どんな風に....

これからみんなで、育てていく会です。参加したみんなが元気になれる集まりになればと願っています。

◆次回9月7日(木)《ペープサートで遊ぼう》参加をお待ちしています

日時 毎月第一木曜日 11時～12時  
場所 修学院児童館 (712-4443)  
左京区一乗寺灯籠本町

## けやきの本棚 4

わたしの  
おすすめの本

へんしん糸・ひも・布  
はじめての手芸シリーズ1  
石井正子著 偕成社 96年



この本はいろいろな毛糸やひもで作れる楽しいものが二十個ほどのついでいます。三つ編みや四つ編みを知らない人でもそのやり方からかいてあるので便利です。布のはり絵や織物やロップでかざったりするものなど、いろんなものがあつたのでぜひ読んで作ってください。(北白川小6年 島崎千里さん)

### ひとは宇宙で進化する

―無重力とからだの不思議な関係― 三井いね著 ポプラ社 99年

9歳の時にアポロ11号の月面着陸を見た著者はそれ以来「いつか宇宙を飛びたい」という夢を持ち続

け、脳神経外科医の仕事のかたわら、宇宙医学の研究を進め、念願のNASAエンジニアムス研究所に招かれたのです。

「宇宙では呼吸がかわる」「宇宙でかわる薬の効果」「宇宙と老化の関係」などいろいろ不思議なことが書かれていて、ぼくが一番おもしろかったのは「宇宙ホスピタルでの治療」です。最後にぼくたちへの熱いメッセージがあります。子どもだけでなく大人にもおすすめです。(岩倉南小6年 平岡伸也さん)

### 木を植えた男



ジャン・ジオノ作  
あすなる書房 89年

読み終えた後、心の中にいつまでも余韻が残る本です。絵本とはいっても、中高生から成人にも充分楽しめる内容です。一人の男の無償の行いが、荒れ果てた大地を何年もの年月をかけてよみがえらせ、やがて、緑の大地へと変えていく。その様子をフレデリック・バックの光あふれる柔らかな挿し絵がまるで時の移り変わりをその場で見ている

1.ハリーポッターと賢者の石	ローリング	貸出回数14	7.森のネズミと山のレストラン	岡野薫子	12
2.もこもこ	元永定正	13	8.いぬうくんがやってきた	きたやまようこ	11
3.14ひきのこもりうた	いわむらかずお	12	9.なぞなぞ3年生	熊谷さとし	11
4.天体(地球・月 太陽・星の動き)がわかる		12	10.バーバパパのABC	アネット=チゾン	11
5.ドラえものの算数おもしろ攻略	小林敢次郎	12	11.バーバパパのしまづくり	アネット=チゾン	11
6.水べの生物	菅野徹	12	12.野球入門 投手・守備	本間正夫	11

## 図書館友の会「けやき」の仲間になりませんか

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ、一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。  
それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、  
私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと「けやき」を作りました。  
図書館のスタッフとともに、この新しい左京図書館を支え、育てていきたいのです。

### こんな活動をしています 一緒にしましょう

- ♡**であいの森** 左京図書館のおたのしみ会に協力。子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。
- new!♡**であいの森手作り班** 上記おたのしみ会で使う、紙芝居やパネルシアターなどを製作。
- ♡**案内ボランティア** 映画上映会など左京図書館の催しに協力。
- ♡**館内飾り付け** 季節ごとに手作りの作品で絵本コーナーの壁面を飾っています。
- ♡**誰もが利用できる図書館を考える** 図書館の現状を調べたり、提案をしたりしています。
- new!♡**「けやき」のテープ録音** 視覚障害の方のためにニュースレター「けやき」を朗読して録音。
- ♡**ニュースレター編集部** 友の会のニュースレター「けやき」を作成しています。
- ♡**事務局** 各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

ぜひあなたの思いを形にして図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は年会費500円をそえて下記事務局にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方 TEL/FAX 075-721-2625  
年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆または下記の郵便振り込み口座へ年会費500円を納入することで入会していただくこともできます。

口座番号 00920-8-156914 口座名称 図書館友の会 けやき

◆活動費のカンパも歓迎します。直接または上記の振り込み口座をご利用ください。

## けやき情報板

### 一緒にしましょう!

▽8月25日に左京図書館で映画会があります。今回は「エデンの東」。会場は3階の会議室で、1時半からです。この映画会の案内ボランティアをやっておられる方、事務局までご連絡ください。当日の会場設営や掲示、参加者の案内、後片付けなどのお手伝いです。映画を観に来て、その前後にちょっと手を貸してくださるのもいい

いのです。この機会に、けやきの活動を始めてみませんか。

### 読者の声を!

ニュースレター「けやき」へのご意見、ご感想お寄せください。また「地域の読書サークル紹介」「けやきの本棚」への投稿もお待ちしています。(なお掲載についてはけやき編集部の判断におまかせください。)

編集後記

▽取材中、左京図書館の一日の  
みたり、本や書架ばかりが  
い、図書館で、活気があ  
見、落ちた。活気があ  
たり、時間によつて変わ  
た、表情的も知ること  
図、館の表情も知ること  
で、先日の衆議院選挙  
▽先日、タレントの投票  
所、というところ、二階  
館もたいへん賑わった、  
規、登録者も多数あつた、  
一人ひとり、図書館の  
考え、図書の将来を  
資料が大きい。図書館の  
れ、すようになつてく

◇**けやき** 第4号 2000年8月1日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん  
カット 1.2頁・高野のHさん 3頁・田中のTさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方  
TEL/FAX 075-721-2625